

研究に関するお知らせ

(研究課題名：Silent hypoxiaを認めるcovid-19患者の特徴に関する後向き観察研究)

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院国際感染症センターでは、以下にご説明する研究を行います。この研究への参加を希望されない場合には、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはありませんので、ご安心ください。

■研究目的・方法

自宅療養中のcovid-19患者の急変や突然死が社会的な問題となっています。自宅療養者の健康管理の難しさとして、呼吸苦はないが低酸素血症を認めるsilent hypoxia (静かな低酸素状態) という病態が挙げられ、silent hypoxiaを認める患者は予後不良であることが指摘されています。silent hypoxiaは呼吸苦を伴わないため、happy hypoxia (幸せな低酸素状態) と呼ばれることもあります。

silent hypoxiaを認めるcovid-19患者の背景を明確にすることが、より安全な自宅療養と行政の負担軽減につながる可能性があります。

この研究では、全国covid-19レジストリデータを解析し、多変量解析により初療時にsilent hypoxiaを認めるcovid-19患者の背景を同定します。

■研究期間

理事長承認日～西暦2023年12月31日

■研究の対象となる方

「COVID-19に関するレジストリ研究 (COVID-19 Registry)」にご登録いただいた方。

■ご協力頂く内容

上記の対象期間中に対象となった方の、診療上必要な収集された情報をもとに、silent hypoxiaに關与する因子を解析します。

■外部への試料・情報の提供

研究データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。匿名化対応表は、国立研究開発法人国立国際医療研究センターでは当センターの個人情報管理者が保管・管理します。また環境調査で収集した検体使用に際しては、厚生労働省が定めた倫理指針に則って個人情報厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

■研究組織

研究代表： 国立研究開発法人国立国際医療研究センター 国際感染症センター 森岡 慎一郎

■利益相反について

利益相反の状況については NCGM 利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関する研究全体及び研究者個人として申告すべき利益相反の状態はありません。

■研究計画書等の入手・閲覧方法・手続き等

あなたのご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。また、未成年者や認知機能が低下された方に関しましては、代諾者の方からの研究不参加の申し出やご相談などに対応させていただきます。

■個人情報の開示に係る手続きについて

本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■当院の研究責任者・本研究全体の研究代表者：

国立研究開発法人国立国際医療研究センター 国際感染症センター 森岡 慎一郎

■お問い合わせ先

東京都新宿区戸山1-21-1 国立研究開発法人国立国際医療研究センター
国際感染症センター 森岡 慎一郎
03-3202-7181 (代表) (月～金 8:30～17:15)